



かしこく  
やさしく  
すこやかに

# 学校だより



花園小  
R7, 4, 30  
文責 河野

## 新年度スタート！！

たくさんのお花々が春風に揺られる中、4月8日（火）に始業式が行われ、令和7年度がスタートしました。就任式後の担任発表では、子どもたちの嬉しそうな顔がとても印象的で、同時に一つ学年が上がり、意欲にあふれている姿が見られました。

また、9日（水）には入学式があり、1年生110名を迎え、全校児童633名となりました。

右は、本年度の本校の「学校経営方針及び全体構想」です。学校教育目標を「自他を大切にし、主体的に学ぶ児童の育成」とし、めざす学校像・児童像・教職員像を掲げています。後日、より具体的な教育活動の概要（グランドデザイン）についてはお示ししますが、一人一人の子どもたちが安全で安心して通うことができるよう、全職員が一体となって関わっていきます。

今後とも経営方針をご理解のうえ、昨年同様、保護者、地域のご協力をよろしくお願いいたします。

## 歓迎遠足がありました！

18日（金）に歓迎遠足があり、体育館で1年生の歓迎会を行った後、花園池（下の堤）を周回しました。少し距離が長かったせいか、学校に着くころには疲れも見られる子どももいましたが、お弁当の時間は、笑顔で仲良く食べる姿が見られました。朝からの雨もあがり、楽しい日を過ごしました。



## 授業参観・学級懇談会・PTA 総会(26日) お世話になりました。

たいへん、ご多用な中にご参加いただき、ありがとうございました。子どもさんのことで、何か気になることがありましたら遠慮なく担任に連絡ください。

また、PTA総会資料については、後日修正版を安心メールにて送付します。

本校学校経営方針及び全体構想

日本国憲法、教育基本法  
学校教育法、学習指導要領  
県児童・生徒教育指導の指針  
県教育振興基本計画  
熊本県教育庁各課取組の方向  
宇城教育事務所取組の方向  
土士市学校教育努力目標

《校訓》  
かしこく  
やさしく  
すこやかに

児童の実態  
保護者の願い  
地域の願い  
教育活動の反省  
時代・社会の要請

### 教育目標

自他を大切にし、主体的に学ぶ児童の育成

#### めざす学校像

- 安全で安心できる学校
  - 一人一人が大切にされ、笑顔で下校できる学校
  - 自分の居場所がある学校
  - 誰一人取り残さない学校
- 活気ある学校
  - ほめ、認め、見届け、励まし、伸ばす学校
  - 主体的に学ぶ力を育てる学校
- 地域の中の学校
  - 家庭、地域と連携する学校

#### めざす児童像

- 自ら問いを発する子ども
  - 「なぜ」「どうして」を大切にすること
  - 学習したことを生活に生かそうとする子ども
- 互いを認め合う子ども
  - 自他のよさを認めあうことが出来る子ども
  - 協力しながら、課題を解決しようとする子ども
- 自他の命を大切にすること
  - 自分の命とともに他の命も大切にすること
  - 地域や学校に誇りを持つ子ども

#### めざす教職員像

- 使命感と向上心を持った教職員
  - 豊かな人間性を持つ教職員
  - 進んで研修に励み、指通力を磨く教職員
  - ほめ、認め、信じて任せ、見届ける教職員
- 同じ方向を向き、心と力を合わせる教職員
  - 組織の一員としての自覚と責任を持つ教職員
  - 子供を学びの主体として動く教職員
  - 子供、保護者、地域、同僚から信頼される教職員

### 経営方針

人間尊重の精神を基盤とし、これからの社会を力強く生きるための資質・能力を育成する教育活動を通して、徳・知・体の調和のとれた児童を家庭・地域とともに育てる。

- 豊かな心を育む教育を推進する。
- 基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。
- 組織体としての教育力の高揚に努める。
- 生命と身体を大切に育てる教育の徹底を図る。
- 地域や学校に対する誇りを育む教育を推進する。
- PDCAを意識した学校運営を図る。

### 努力事項

かしこく	やさしく	すこやかに	ふるさとを愛する心
<問いを発する力> ○子どもの側に立った展開の工夫 ○導入の工夫 ○定着確認と個に応じた指導の工夫	<認め合う力> ○自己有用感を高める学級づくり ○人権が尊重される授業づくり ○子どもが元気になる言葉かけ	<命を大切にすること> ○安全に生活するための判断力・行動力の育成と習慣化 ○体力づくり活動の充実 ○ネットやメディアとの健全な向かい合い方の指導	○整えられた校内環境づくりの推進 ○幼・保・小、中連携の充実 ○地域とともにある学校づくりの推進